

事例研究報告

**特別支援学校小学部の
強迫的なこだわり行動のある児童の
自立した行動を増やすための支援**

児童の実態

- 小学部、自閉症
- 簡単な言語指示が理解できる。
- 発語なし、発声あり。
- 日常生活のあらゆる場面で強迫的なこだわり行動があり、途中介入で激しい自傷行動や更なるこだわり行動に発展しやすい。
(例) 自分が納得するまで何度も靴の着脱を繰り返す。
(例) タイル等の境界線は決まった箇所を踏まないと気が済まない。
- こだわることが、その時々で移り変わる。

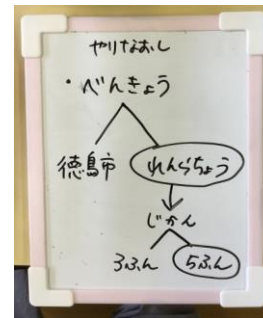
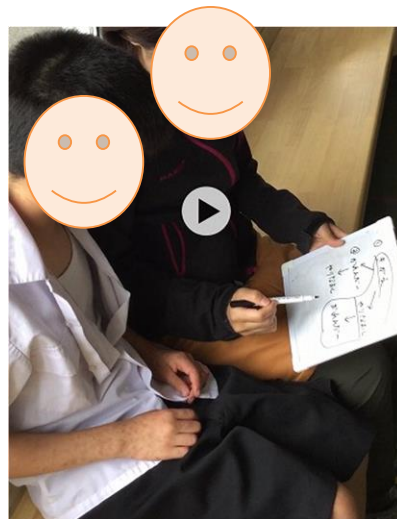
保護者の願い

自立して欲しい。

教員の願い

適切な環境設定や教員の関わりにより、適切なコミュニケーション方法を身に付け、一人で活動できる内容や時間を増やしたい。

Beforeの取り組み



援助要求カード



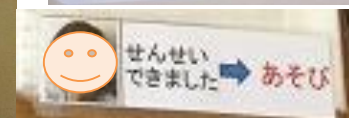
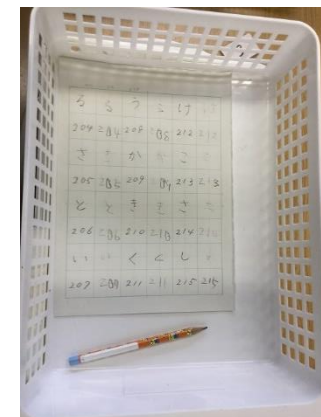
こだわった行動の
やりなおし交渉



遊びを増やす
休み時間の充実



自立課題を2年ぶりに再開



アドバイザーからの助言

関わりを増やすより
一人でできることを増やす。

余暇の充実（継続指導）

援助要求カードを使って
やり直し行動をする場合
は回数制が良い。

こだわることは
始めから手伝って
こだわらせない
ように配慮する。



こだわり行動のやり直しはさせない（反応妨害法）

- ・やり直しをさせることで儀式的行動が強化される
- ・こだわりだしたら視界から外し、こだわれない状況を作る。

助言（2回目に向けての課題）

こだわり行動を生かした活動
みんなの役に立つような、
積み上げ式のものが見たい。

がんばったことへの特別なご褒美を
用意する。

本人が好んでする活動で、安全で、
コストパフォーマンスがよい活動にする。



助言を受けての見直し

<改善>

- ・こだわり行動に対してやり直しをブロックする。
- ・児童の「こだわり」や「好きなこと」を生かした新しい活動を開発する。
 - 『I Love Face!』: 顔が好き! 図工が好き!
 - 『汁もん屋開業』: 調理大好き!
: 教員に温かい汁物を!

<継続>

- ・遊びの充実を図る。
- ・自立課題への取り組みに位置づける。

指導の手続き（学習課題）

- ①材料をセットし、紙を選ぶように声をかける。
予めペンとのりのふたを取っておく。
- ②タイマーをセットする(だいたい15分程度)
- ③基本的には見守り、10秒以上手が止まっている時は指さしや言葉かけで活動を促す。
- ④タイマーが鳴ったら教員が材料を片付ける。



指導の手続き（汁もん屋）

<事前に>

- ①学年会で資料を配付し、取組内容の共通理解を図る。

<味噌玉作り>

- ①手順書を提示し説明する。
- ②材料を渡す。
- ③材料を入れて混ぜる。

援助要求があったら示範・ガイダンスを行う。

- ④混ぜてラップで包む（ラップは教員が切る）。



指導の手続き（汁もん屋）

<注文>

- ①各学級を回って注文を取る。
- ②スイッチを押し、チケットを渡す。



<味噌汁作り・配布>

- ①かごにホルダーを並べる。
- ②カップに味噌玉を入れる。
- ③ホルダーにカップを入れる。
- ④具や湯を入れる。
- ⑤食堂で教員に配る。



指導の手続き（共通）

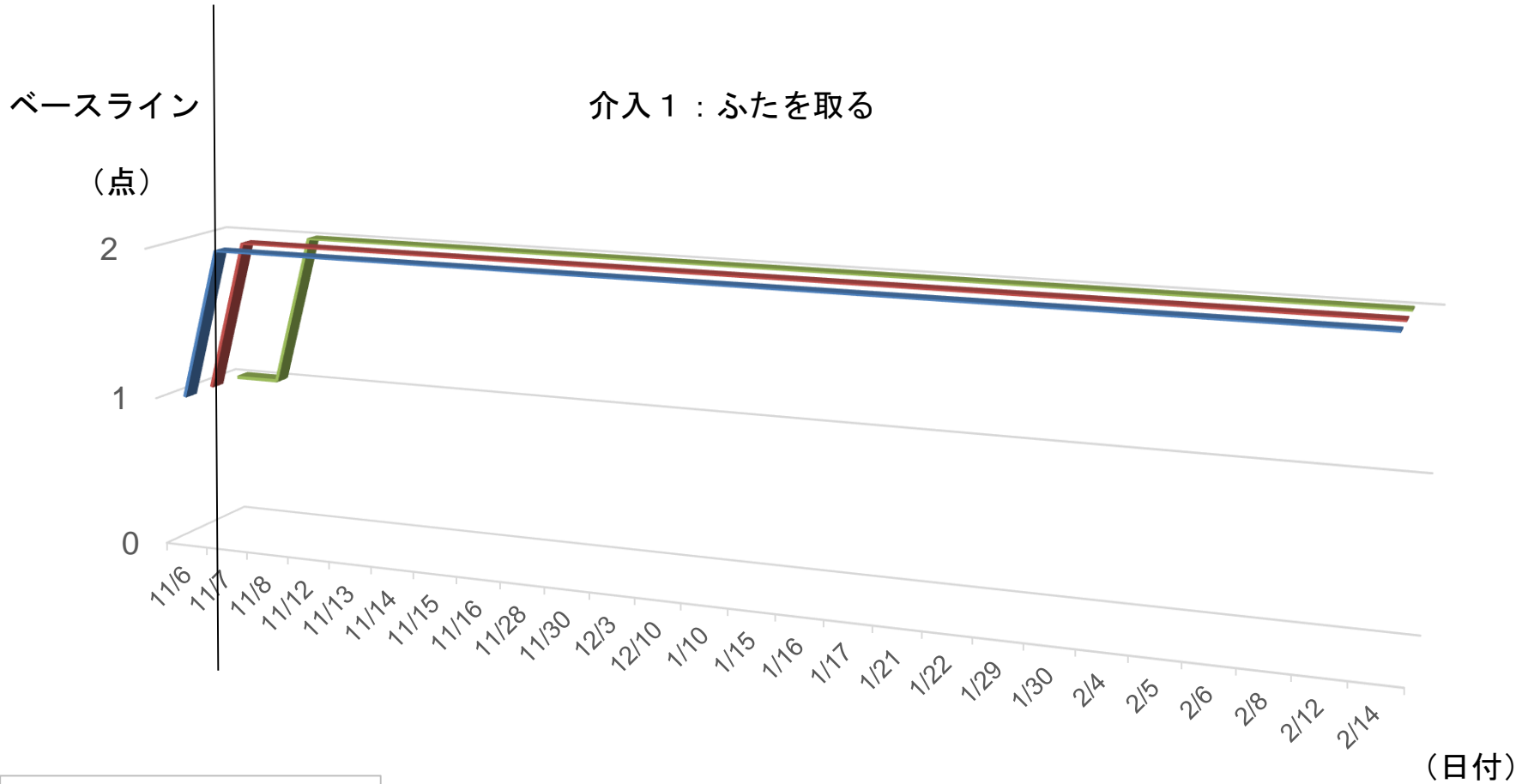
- こだわり始めたらカウントダウンしたりタイマーを使用したりして、互いに妥協点を作る。
- こだわり始めたらすぐに身体的ガイダンスにより、本来の行動をとるようにする。

記録方法と記録

- 自発 2点
- プロンプト有 1点
- しない 0点

指導の成果 (I Love Face !)

一人でできたかどうか



2点 : 一人で
1点 : プロンプト有
0点 : しない

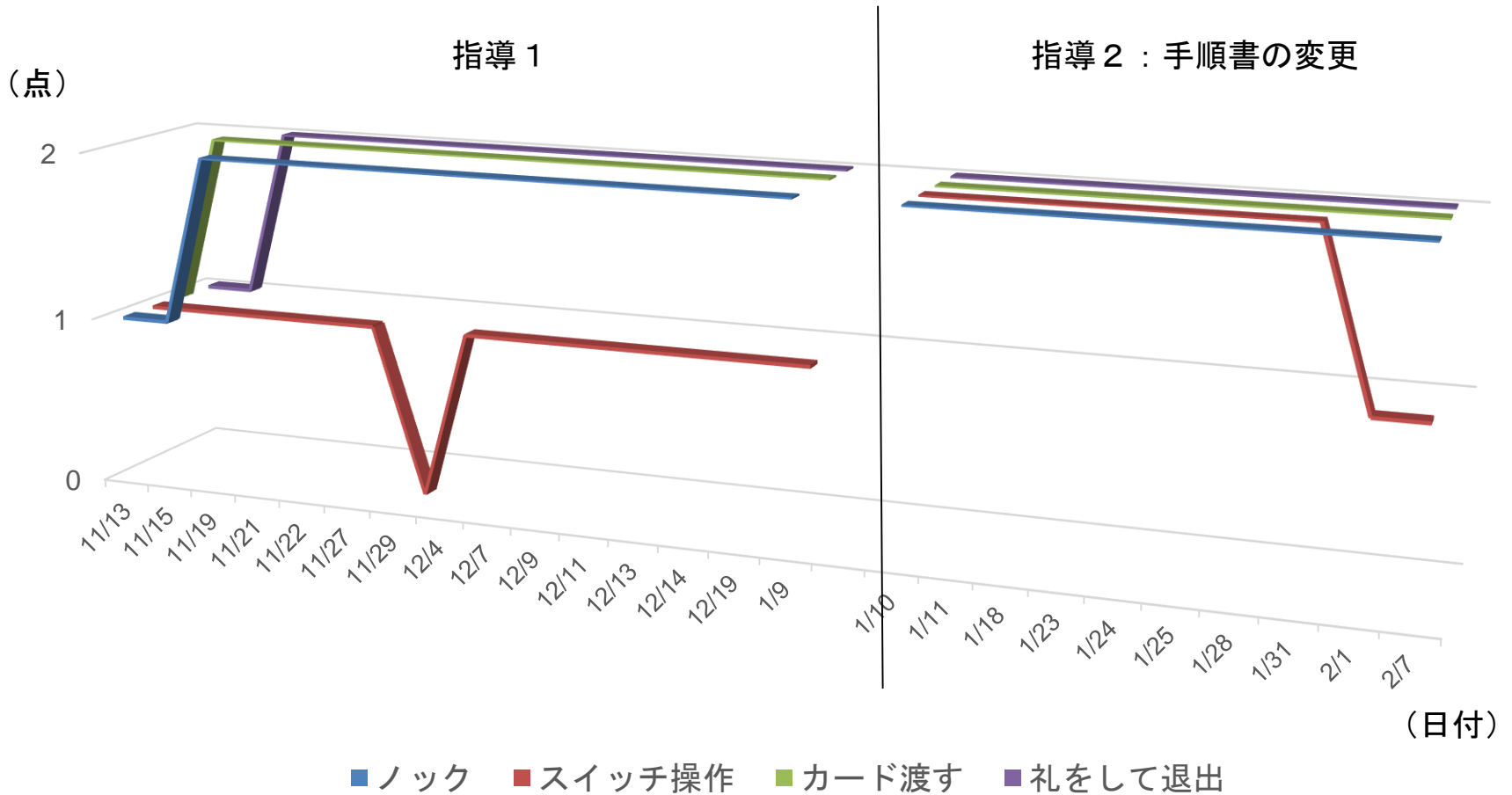
■ 破る

■ 貼る

■ 描く

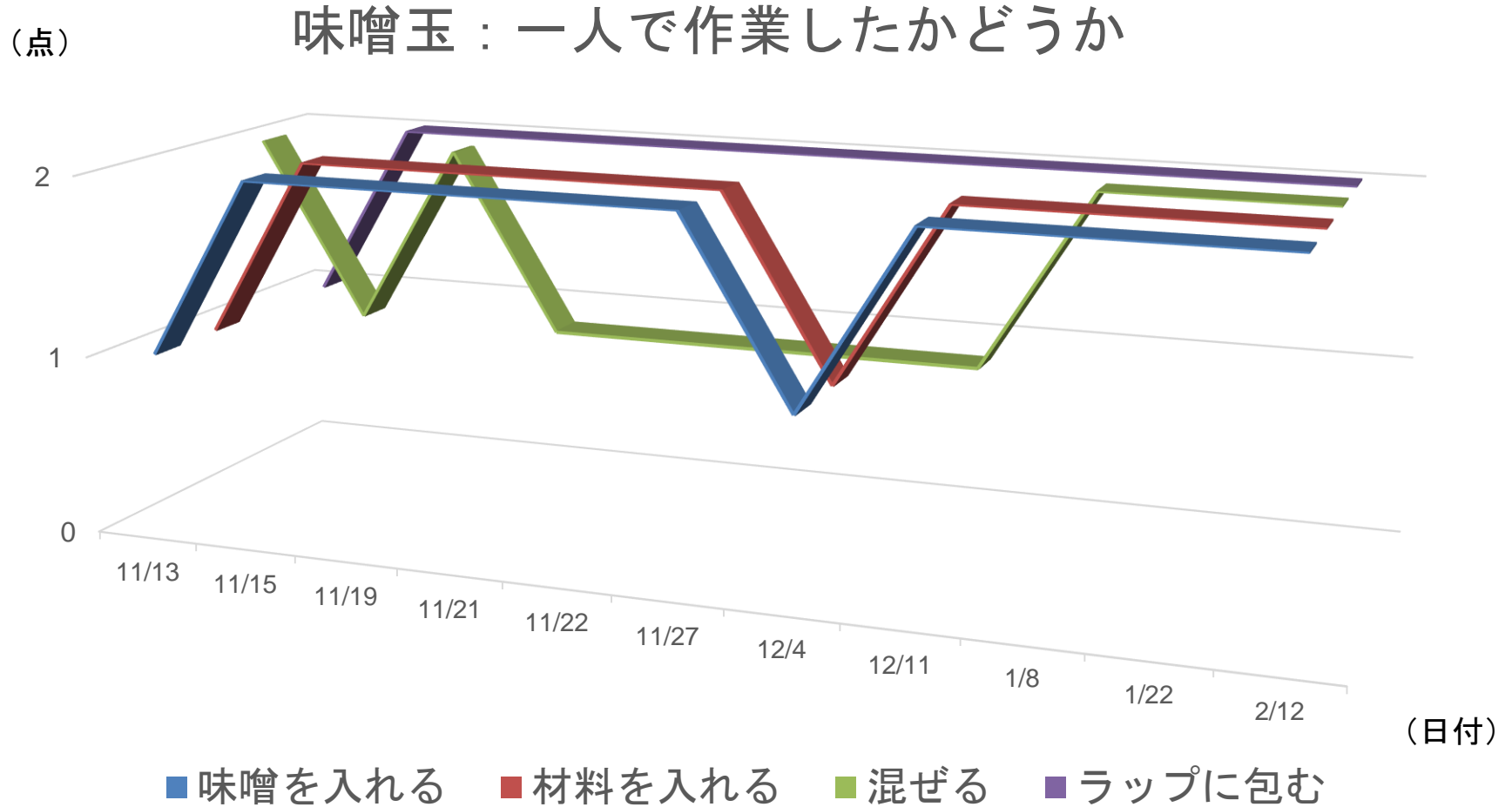
指導の成果（汁もん屋）

注文取り：一人でできたかどうか



2点：一人で
1点：プロンプト有
0点：しない

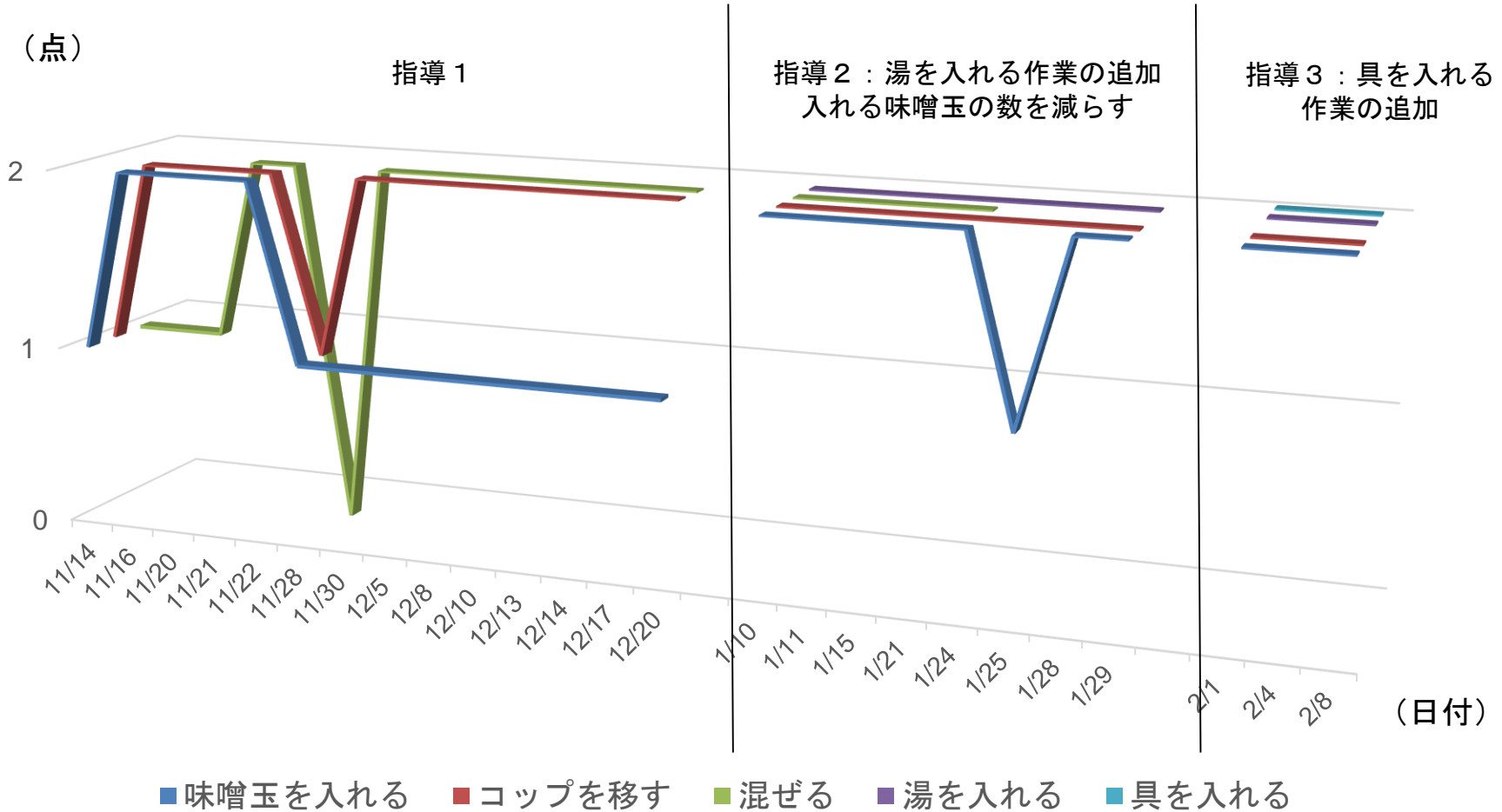
指導の成果（汁もん屋）



2点：一人で
1点：プロンプト有
0点：しない

指導の成果（汁もん屋）

味噌汁：一人で作業したかどうか



2点：一人で
1点：プロンプト有
0点：しない

ここが成功のポイント

- 好子の準備
→気持ちの切り替えが早くなった。
- 繰り返し学習により見通しを持って活動に取り組めるようにする。
→こだわり行動を未然に防ぐ。
- こだわりに対する素早い介入と妥協点
→互いに楽な気持ちで付き合える。
- 学年、学部での共通理解と協力が大切。